


船舶事故調査報告書

令和元年10月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

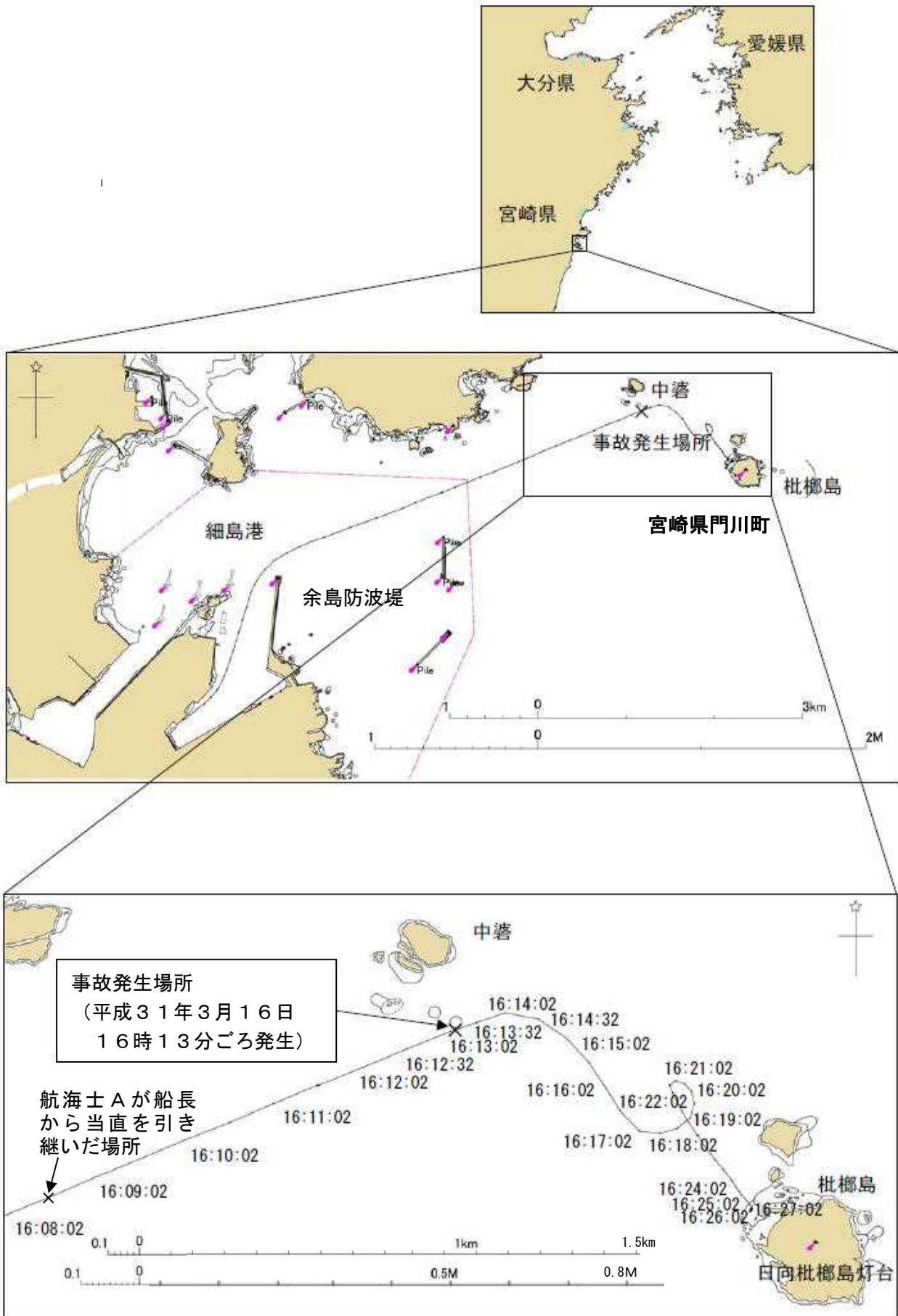
委員 佐藤 雄二（部会長）
委員 田村 兼吉
委員 岡本 満喜子

事故種類	乗揚
発生日時	平成31年3月16日 16時13分ごろ
発生場所	宮崎県門川町枇榔島北西方沖 日向枇榔島灯台から真方位300° 1,340m付近 (概位 北緯32° 28.3′ 東経131° 43.1′)
事故の概要	貨物船ひむかは、東北東進中、岩礁に乗り揚げた。 ひむかは、左舷船底部に破口等を生じた。
事故調査の経過	平成31年3月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	貨物船 ひむか、199トン 133638、双葉海運株式会社 56.00m×9.50m×3.18m、鋼 ディーゼル機関、735kW、平成7年5月1日
乗組員等に関する情報	船長 男性 64歳 四級海技士（航海） 免許年月日 平成22年11月29日 免状交付年月日 平成27年8月31日 免状有効期間満了日 令和2年11月28日 航海士A 男性 62歳 五級海技士（航海） 免許年月日 昭和60年7月26日 免状交付年月日 平成28年6月7日 免状有効期間満了日 令和3年8月22日
死傷者等	なし
損傷	左舷船底部に破口、亀裂、凹損及び擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風速 約4～5m/s、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 下げ潮の中央期、潮高 約93cm (細島港)
事故の経過	本船は、船長及び航海士Aほか2人が乗り組み、木材チップ約560tを積載し、平成31年3月16日15時50分ごろ愛媛県四国中央市三島川之江港に向けて宮崎県細島港を出港した。

	<p>本船は、船長が細島港の余島防波堤北方沖から枇榔島とその北西にある中礮^{なかぼえ}の間に向け、自動操舵によって約10ノットの対地速力で東北東進した。</p> <p>航海士Aは、16時08分ごろ、中礮南西方沖約0.8海里（M）のところで、出港作業を終えて昇橋し、船長から引継ぎを受けた後、そのままの針路及び速力で航海当直に当たった。</p> <p>航海士Aは、操舵輪の後方に立ち、レーダー及びGPSプロッターを作動させ、船首方を目視で確認しながら操舵に当たり、本船が中礮南方沖を東北東進中、16時13分ごろ左舷前部から音と衝撃を感じたので右舵をとった直後、船体が左舷側に傾斜したのを認めたので、遠心力で本船を起こそうと左舵をとって航行を続けた。</p> <p>船長は、航海士Aに当直を引き継いだ後、操舵室の左舷後部の机で航海日誌の記載を行っていたところ、音がして左舷側に約35°傾斜するのを認め、本船がどこかに乗り揚げたと判断し、海上保安庁に本事故の発生を通知するとともに船舶所有者担当者に連絡し、船体傾斜を元に戻そうとして5番左舷バラストタンクに張っていたバラスト水の排出を開始した。</p> <p>本船は、船長が、5番左舷バラストタンクを空にしたものの左舷側の傾斜が戻らず、転覆の危険を感じて枇榔島に任意座礁させることとし、16時27分ごろ枇榔島西方の浅所に乗り揚げた。</p> <p>本船は、船長が4番右舷バラストタンクに漲^{ちよう}水を行ったところ、船体の傾きがなくなり、17日09時00分ごろからサルベージ会社による応急処置が施され、12時00分ごろ同社のタグボートにより離礁し、自力で細島港に着岸して応急修理が施され、その後鹿児島県いちき串木野市所在の造船所で修理が行われた。</p> <p>（付図1 航行経路図、付表1 本船のGPS記録（抜粋） 参照）</p>
その他の事項	<p>本船の喫水は、船首約2.40m、船尾約3.80mであった。</p> <p>本船は、バラストタンクとして、1番バラストタンク、2番バラストタンク、3番バラストタンク、4番左舷及び右舷バラストタンク、5番左舷及び右舷バラストタンクがあり、載荷状態で航行する際、5番左舷及び右舷バラストタンク以外のバラストタンクは、全て空の状態であった。</p> <p>本船は、積み地が細島港又は大分県大分市大分港であり、航海士Aは、細島港の出港経験が多数あった。</p> <p>航海士Aは、中礮の岩場が海面上に出ている、その周囲に浅所が存在していることを知っていた。</p> <p>航海士Aは、船首方、レーダー及びGPSプロッターを作動させ、枇榔島と中礮の間に向けて航行していると思っていたが、実際には中礮に近づき過ぎていたと本事故後に思った。</p> <p>本船は、GPSプロッターの画面に、浅所が表示されていた。</p>

	<p>本船は、鹿児島県の造船所で船底の点検が行われたところ、2番及び3番バラストタンクの左舷側並びに4番左舷バラストタンクに破口、亀裂、凹損及び擦過傷が認められた。(写真1参照)</p>  <p style="text-align: center;">写真1 損傷状況</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし なし</p> <p>本船は、細島港東方沖を東北東進中、航海士Aが、枇榔島と中簗の中間に向かって航行していると思い、船首方を目視により確認しながら航行を続けたことから、中簗の南方の浅所に乗り揚げた可能性があると考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が細島港東方沖を東北東進中、航海士Aが、枇榔島と中簗の中間に向かって航行していると思い、船首方を目視により確認しながら航行を続けたため、中簗の南方の浅所に乗り揚げた可能性があると考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船橋当直者は、慣れた海域を航行する場合であっても、レーダー及びGPSプロッター等を活用して船位の確認を適切に行うこと。 ・ 船橋当直者は、狭い海域を通過する際、あらかじめ、可航水域及び航行に支障となる浅所等の有無を確認しておくこと。

付図1 航行経路図



付表 1 本船のGPS記録(抜粋)

時刻 (時:分:秒)	船位※	
	北緯 (° -')	東経 (° -')
16:08:02	32-27.96339	131-42.21298
16:08:32	32-27.99543	131-42.30422
16:09:02	32-28.02827	131-42.39462
16:09:32	32-28.05982	131-42.48538
16:10:02	32-28.09114	131-42.57546
16:10:32	32-28.12239	131-42.66537
16:11:02	32-28.15357	131-42.75473
16:11:32	32-28.18470	131-42.84506
16:12:02	32-28.21607	131-42.93453
16:12:32	32-28.24751	131-43.02487
16:13:02	32-28.27778	131-43.11373
16:13:32	32-28.29286	131-43.16421
16:14:02	32-28.31013	131-43.22543
16:14:32	32-28.30067	131-43.29312
16:15:02	32-28.26564	131-43.35086
16:15:32	32-28.22328	131-43.39718
16:16:02	32-28.17982	131-43.42959
16:16:32	32-28.13917	131-43.46023
16:17:02	32-28.10719	131-43.49868
16:17:32	32-28.10322	131-43.53970
16:18:02	32-28.11164	131-43.57522
16:18:32	32-28.13038	131-43.60147
16:19:02	32-28.15412	131-43.60971
16:19:32	32-28.17555	131-43.60415
16:20:02	32-28.18855	131-43.58920
16:20:32	32-28.19306	131-43.57095
16:21:02	32-28.18550	131-43.55960
16:21:32	32-28.17243	131-43.56655
16:22:02	32-28.15168	131-43.57888
16:22:32	32-28.12574	131-43.59506
16:23:02	32-28.10029	131-43.61672
16:23:32	32-28.07716	131-43.63540
16:24:02	32-28.05732	131-43.65390
16:24:32	32-28.04005	131-43.67062
16:25:02	32-28.02381	131-43.68441
16:25:32	32-28.00990	131-43.69442
16:26:02	32-27.99891	131-43.70578
16:26:32	32-27.98805	131-43.71499
16:27:02	32-27.97926	131-43.72390

※船位は、船橋上方に設置されたGPSアンテナの位置である。